

木々の紡ぎ

木材の循環を通じて、自然とのつながりを体感できる場
木々の流れを感じる空間で人と自然を紡いでいく



01 背景 - 製材所の衰退



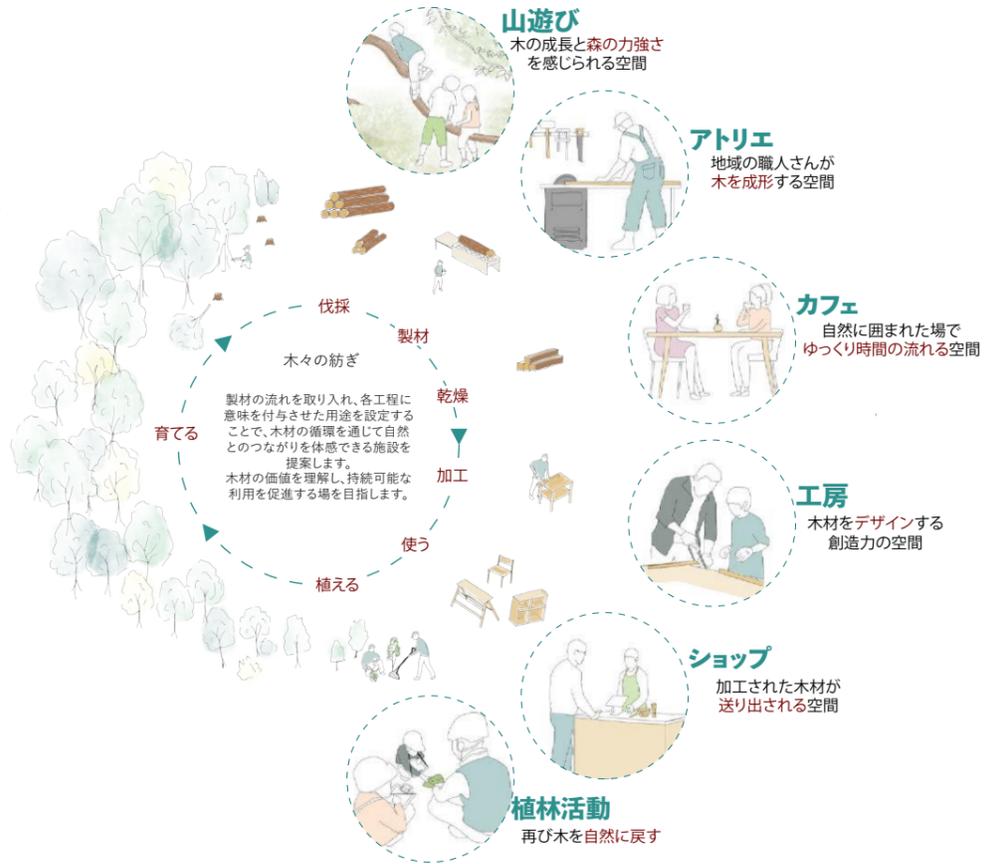
製材所は木材需要の減少や技術の進歩で衰退し、木材を扱う人材も減少しています。しかし、近年木材が再評価され注目を集めていることから、地域の森林資源を活かし、新たな活用法を模索する必要があります。そこで、製材所の流れに着目し、木材に触れられる施設を提案します。

02 行くたび景色が変わる



木が、家具・補修材・木チップに変わり
行くたびに新しい景色を楽しめる

05 木々の紡ぎ - 木材の循環を体感する



03 敷地 - 自然豊かな東栄町



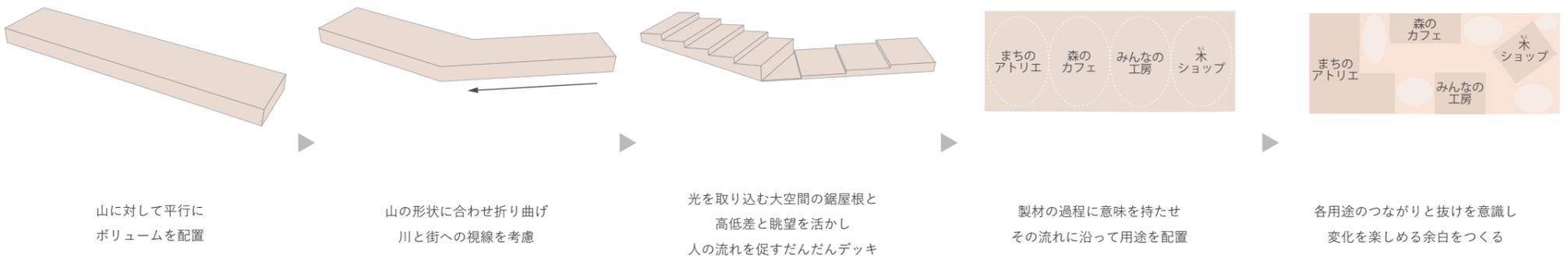
美しい山や川を望む立地に、学校や役場も近くありますが、現状では人が集まる場になっていません。そこで、人々が集まる新たな可能性を感じ、対象敷地としました。

04 三河材

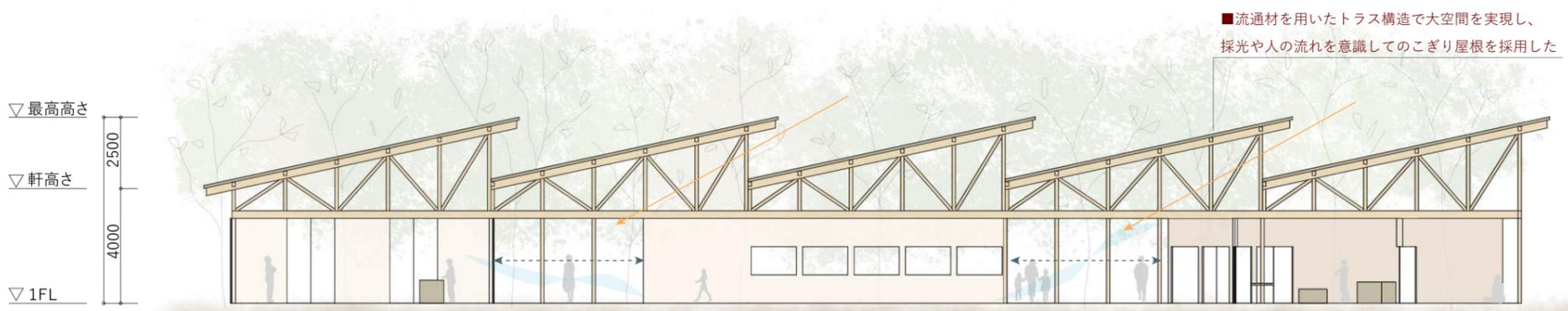


愛知県三河地方は豊かな水源に恵まれ、林業が盛んな地域です。三河スギと三河ヒノキは、赤みが強く、色艶が良い良質な木材として知られ、家具や建材として広く流通しています。

06 ダイアグラム

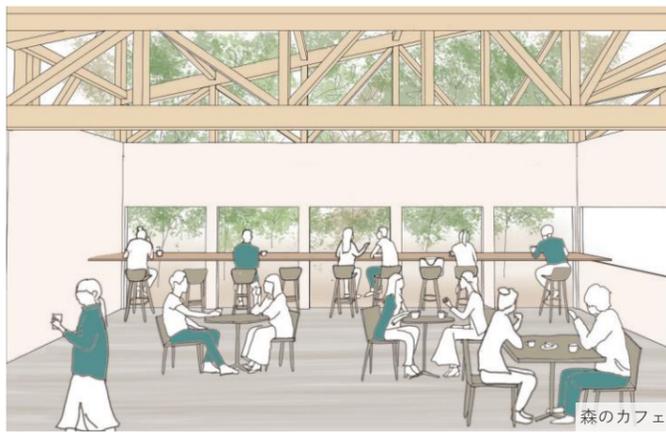


07 断面図 S=1:200





触れるギャラリー



森のカフェ

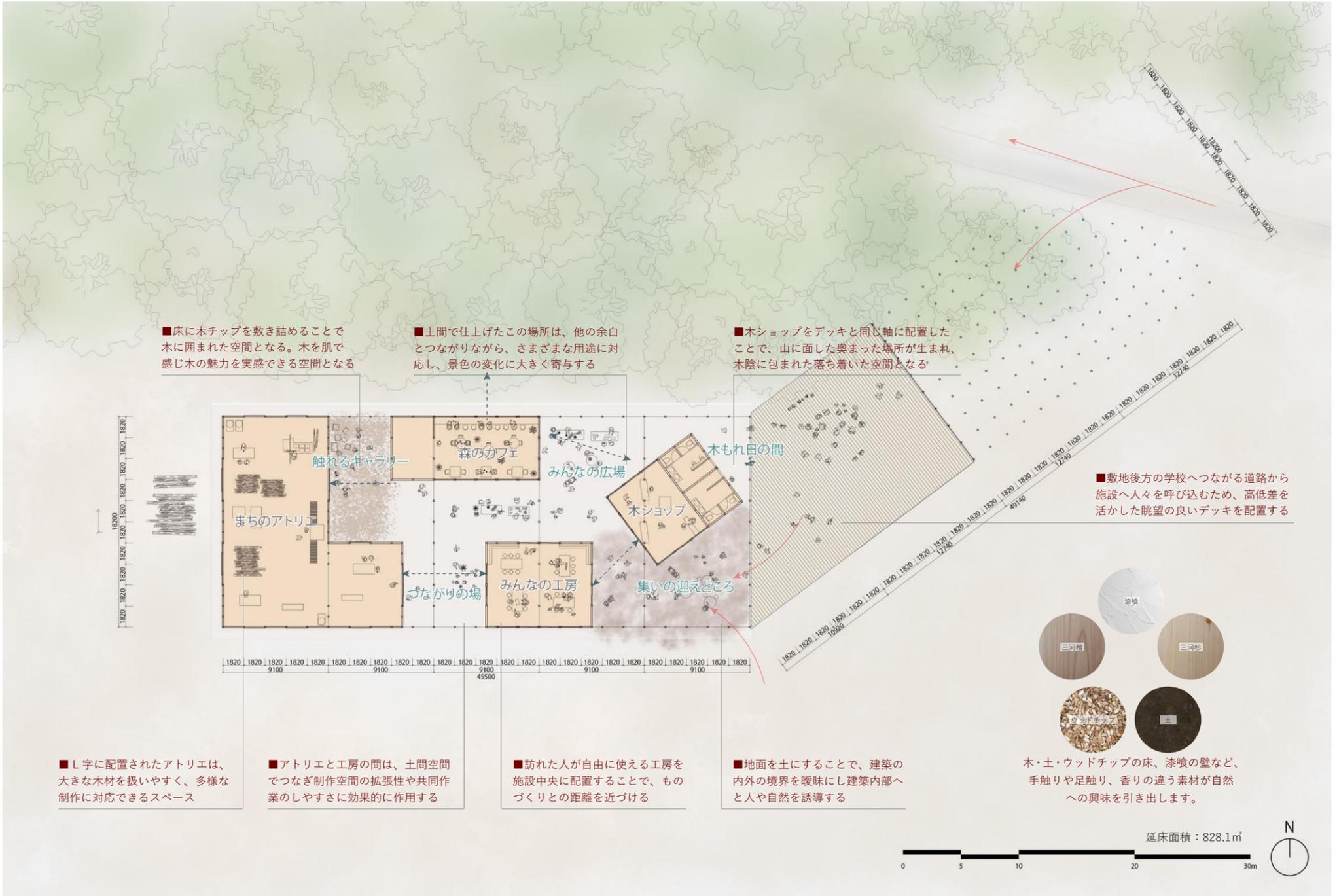


みんなの広場

職人たちが作る家具やアートを展示し、作品や技術を発信する場となります。それらを見たり購入したりすることで、木とのふれあいを楽しみ、作品が増えたり減ったりする景色の変化を体感することもできます。

裏に広がる山の美しい景色を眺めながら、ゆったりとした時間を楽しむことができます。自然の中にいるかのようなリラックスできるひとときを演出します。

マルシェを開催できるスペースで、地域の人々が集い交流する場となります。また、森のカフェや木ショップと一体化させて利用することもでき、より賑やかな雰囲気を楽しめます。



つながりの場



集いの迎えどころ



だんだんデッキ

職人と地域の人々や子どもたちが交流し、工房見学や植林活動、木工ワークショップを通じて、木の魅力や製作過程を体験できる場となります。これにより、地域のつながりや木の大切さを実感することができます。

施設の顔となるこの場所は、木格子の隙間をすり抜けたり、土遊びも楽しめる子どもたちの遊び場です。土に緑や花が育ち、景色が変わることも楽しめます。高く開放的な屋根が人を引き寄せるアプローチとなっています。

道から見ると、のこぎり屋根と山の眺望が楽しめる広いステージは、交流スペースや子どもたちの遊び場、発表の場になります。また、木に侵食されただんだんデッキは、山遊びへつながる場所になります。

